

令和8年度 奈良市バリアフリー特定事業計画策定業務委託に係る質問回答書

質問内容	回答
「(2)実態の把握」について 特記仕様書「第2章 業務内容」「2. 奈良市バリアフリー特定事業計画策定」「(2)実態の把握」において、「必要に応じて各事業者と調整を図りながら現地調査を実施し、事業を実施すべき課題箇所を整理・提示する」とあります。 奈良市バリアフリー基本構想に示されているバリアフリー上の課題(富雄駅周辺地区版P16、菖蒲池駅周辺地区版P17)に対応する生活関連施設及び生活関連経路について、過去のまちあるき点検結果等の詳細な課題箇所に関する資料をご提供いただけますでしょうか。 また、当該資料が存在する場合においても、各事業者と調整を行ったうえで現地調査を実施し、事業を実施すべき課題箇所を整理する理解でよろしいでしょうか。	バリアフリー基本構想の改定にあたり実施したまちあるき点検に関する資料については、提供します。 なお、当該資料を参考とし、発注者と協議のうえ、必要に応じて各事業者との調整や現地調査を行い、特定事業として取り組むべき課題箇所を整理・提示してください。
特定事業シートの作成内容について 特記仕様書「第2章 業務内容」「2. 奈良市バリアフリー特定事業計画策定」「(4)特定事業計画の作成支援」において、「各事業者用の特定事業シートの作成にあたっては、今後の事業進捗を確認できるよう配慮する」とあります。 当該シートは、「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン」に示されている事後評価事例(P135～140)のように、年度ごとの着手時期・完了時期及び進捗率等を管理・集計できる形式(エクセル形式等)を想定されていると理解してよろしいでしょうか。	ご理解のとおり、各事業者における特定事業の進捗を年度ごとに把握できるよう、着手時期・完了時期や進捗状況等を管理・集計できる形式を想定しています。なお、形式はExcelに限るものではありませんが、各事業者が記入しやすく、発注者が年度ごとの進捗を確認・集計できるものとしてください。具体的な様式や記載項目については、発注者と協議のうえ作成してください。